



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜市青葉区たちばな台マンション計画新築工事	階数	地上5F
建設地	横浜市青葉区たちばな台1丁目2-2	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域・第一種低層住居専用地域	平均居住人員	160人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2023年12月15日
敷地面積	2,949㎡	作成者	熊谷 一司
建築面積	1,323㎡	確認日	2023年12月15日
延床面積	5,528㎡	確認者	熊谷 一司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 82%
 ③上記+②以外の: 82%
 ④上記+: 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.3
 Q2 サービス性能: 2.9
 Q3 室外環境(敷地内): 2.7
 LR1 エネルギー: 3.6
 LR2 資源・マテリアル: 3.0
 LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項

総合		その他
CO ₂ 排出率の減少にて努力しています。		特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆建築材料を使用することで、室内空気汚染化学物質がない、良好な室内状況を図ります。	Q2 サービス性能 維持管理しやすい内装・外装を使用することで、建物の長寿命化を図ります。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地スペースを確保することで、豊かな居住環境を図ります。
LR1 エネルギー 一次エネルギー消費率を達成することで、建物の低炭素化を図ります。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 駐輪・駐車スペースを確保することで、周辺道路の渋滞緩和を図ります。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



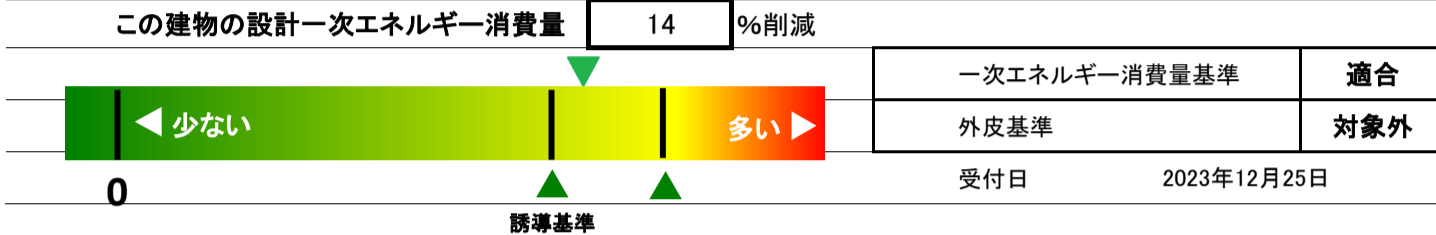
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜市青葉区たちばな台
マンション計画新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

断熱性能を向上。
高効率の設備機器を使用。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

断熱性能等級5を達成。
F☆☆☆☆建築材料を使用。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

VLP、VP管材を使用。
光ケーブル、メタルケーブルを使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— —	



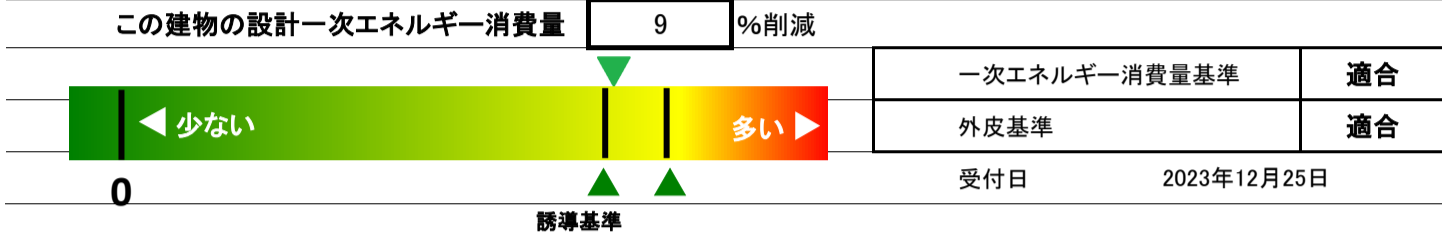
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)横浜市青葉区たちばな台
マンション計画新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)
断熱性能を向上。
高効率の設備機器を使用。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 5**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4を超.(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

化学汚染物質は不使用。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

VLP、VP管材を使用。

光ケーブル、メタルケーブルを使用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)横浜市青葉区たちばな台マンション計画新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質					-		-		3.0	
Q1 室内環境					0.40				3.3	
1 音環境				2.9	0.15	3.0	1.00		2.9	
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50		-	
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.99	3.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.01	3.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-	
1.3 吸音				1.0	0.00	-	-		-	
2 温熱環境				3.3	0.35	3.3	1.00		3.3	
2.1 室温制御				3.7	0.50	3.7	0.50		-	
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.62	3.0	0.63		-	
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	5.0	0.37	5.0	0.38		-	
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.01	-	-		-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		-	
3 光・視環境				2.6	0.25	3.0	1.00		2.8	
3.1 昼光利用				1.8	0.32	3.0	0.30		-	
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.59	3.0	0.50		-	
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30		-	
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.41	3.0	0.20		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.29	3.0	0.30		-	
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	3.0	1.00		-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.24	3.0	0.25		-	
4 空気質環境				4.1	0.25	4.0	1.00		4.0	
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63		-	
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	1.00	5.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.40	2.3	0.38		-	
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	1.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				3.0	0.00	-	-		-	
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-		-	
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.9	
1 機能性				2.5	0.40	2.6	1.00		2.5	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		-	
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-		-	
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	1.00		-	
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		-	
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.01	3.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-		-	
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.99	1.0	0.50		-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		-	
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50	-	-		-	
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-	
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-		3.2	
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-	
1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-	
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-		-	
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-	
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-		-	
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
3 電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-	
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-		-	
3 対応性・更新性				2.9	0.30	3.0	1.00		2.9	
3.1 空間のゆとり				2.4	0.01	3.0	0.50		-	
1 階高のゆとり				2.0	0.60	3.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				3.0	0.40	3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.01	3.0	0.50		-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.99	-	-		-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-	

CASBEE[®] 横浜 | 評価結果 | 5-107



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)横浜市青葉区たちばな台マンション計画新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-			2.7
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり		⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり		⑪まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり		⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ		⑬敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能		①建物の熱負荷抑制	4.9	0.20	-			4.9
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能		②自然エネルギー利用	2.0	0.10	-			2.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能		③設備システムの高効率化	3.8	0.50	-			3.8
4 効率的運用					3.0	0.20	-			3.0
集合住宅以外の評価					3.0	0.02	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-			-
集合住宅の評価					3.0	0.98	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能		④効率的運用	3.0	0.50	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-			3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-			3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-			-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.3
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-			3.7
2 地域環境への配慮				3.1	0.33	-	-			3.1
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				5.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	0.33	-	-			-
2 振動				3.0	0.33	-	-			-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			-
3 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策		健康・安心		⑥健康対策	5.0	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心		⑥健康対策	3.0	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心		⑦防犯対策	3.0	-	-			-